

# 事業概要シート

施策 1101 交通安全の推進

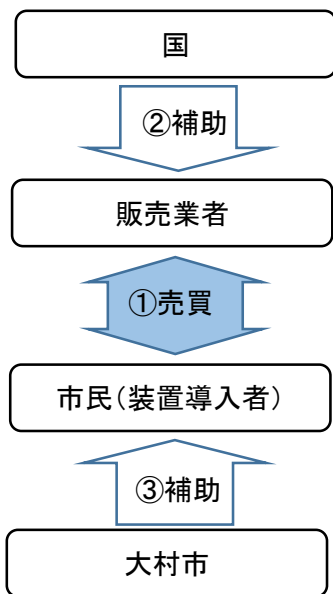
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。  
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	高齢者安全運転支援装置設置促進事業	新規	予算額	2,000 千円
				《 0 》千円
事業期間	令和2年度 ~	財源内訳	国庫支出金	0 千円
			県支出金	0 千円
根拠法令要綱等	高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金交付要綱（仮称）		地方債	0 千円
			その他	2,000 千円
			一般財源	0 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

各地での高齢運転者による重大事故の発生を受け、高齢運転者の交通事故防止のため、国が実施する補助に上乗せする形で、後付け急発進等抑制装置の取付けに対する補助を実施する。  
 これにより、安全運転支援装置の普及促進を図り、高齢運転者自身はもとより、市民全体の安全・安心な生活を守ることを目的とする。

- ・補助対象者は、運転免許証を保有する65歳以上の大村市民で、国が補助対象とする後付け装置を導入した人。
- ・補助額は、国の補助対象経費から国補助を差し引いた額の50%で、上限額は1万円。



後付け装置の国補助は、販売業者に対し交付される。

市は国補助を受けた装置を導入した人に対し、上乗せで補助金を交付する。

**【背景】**

昨今、高齢運転者による重大事故が多く報道され、高齢者の安全運転に対する社会的関心が高まっている。国も安全運転支援装置の補助に乗り出しており、市民の安全・安心な生活を守るため、本市においても高齢運転者による交通事故防止を図る必要がある。

担当課	安全対策課	課長	針山 健
担当者	米田 雄亮	問合せ先	0957-53-4111 内線214

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	申請件数	計画値 件	-	-	200	0	0
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	高齢運転者（65歳以上）による事故件数（第一当事者であるもの）	計画値 件	87	-	70	-	-
②		計画値					

### 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	0	2,000	0	0	2,000
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				2,000			2,000
一般財源							0
人件費		0	0	1,454	0	0	1,454
職員(人)				0.20人			0.20人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	3,454	0	0	3,454

妥当性 (市の関与)	国が実施する補助への上乗せであり、市民生活に密接に関わっている市が実施することが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	補助により、後付け急発進等抑制装置の導入促進が見込まれるため施策への貢献度が高い。
効率性 (コスト)	新規事業であり、現状でコストを見直すことはない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり